

2023年度 環境水理部会 研究集会

1. 開催場所の案内

宮城県気仙沼市

東日本大震災後の中小河川の復興の現状－津波防災と環境－

2. 趣旨

津波防災まちづくりを考えるときに、河川河口部では水門を設置するか、L1対応海岸堤防をそのままバック堤として内陸まで引き延ばす対策が取られる。

一方、高台移転により安全を確保した上で、河川環境を活かす総合的な取り組みも考えられる。舞根(もうね)地区では、海岸堤防・バック堤を配置せず、通常の河川護岸を多自然型で復旧し、また、護岸の一部を開削して、堤内地(民地)に塩性湿地を創出した。これは洪水時には遊水池的な機能を持つ。

また、大谷海岸では砂浜・海水浴場を保全する目的で、国道と堤防の兼用化を進め、背後の土地の造成とセットで街づくりを進めた。

環境省は2014年から生態系を活用した防災・減災に関する検討(通称Eco-DRR)を開始し、国交省は2020年から流域治水の検討を開始したが、気仙沼市の取り組みは、これらの概念の参考事例となりうる。



3. 日程

8月30日(水) 各自現地入り

気仙沼ホテルもしくは一ノ関駅前ホテル泊

8月31日(木) 研究発表会

09:30 気仙沼市役所会議室にて研究集会

気仙沼市役所企画課長 気仙沼市の復興状況(30分)

三浦市議会議員 大谷海岸まちづくり事業(30分)

18:00 終了

18:30 懇親会(みしおね横丁)

21:00 終了

9月1日(金) 現場見学会

08:30 バスにて移動、沿岸ツアー

09:20 舞根地区自然再生事業(10:20発)

10:30 只越河川堤防(10:45発)

10:55 明戸海岸堤防(11:10発)

11:40 大谷海岸道の駅(見学、各自昼食、13:00発)

13:20 津谷川河川堤防(13:50発)

16:00 JR中野栄駅→仙台駅までJR仙石線で20分

16:30 仙台空港



4. 交通案内

新幹線・JR利用(終電)

往路 広島14:40－新大阪15:52－名古屋16:36－東京18:28－気仙沼22:35

復路 中野栄17:04－仙台17:22－東京19:48－名古屋21:28－新大阪22:27－広島23:54

帰路の飛行機(仙台空港→各地)

新千歳空港 18:00、19:35、20:30

伊丹空港 17:40、18:55

関西国際空港 18:05

神戸空港 19:20

神戸空港 19:20

広島空港 17:15

福岡空港 18:45

5. 費用

見学バス(大型) 約15万円→30名乗車で5,000円/人

懇親会 4,000円

ホテル・懇親会場



- ① 気仙沼パークホテル
駅からタクシー10分 懇親会場まで100m
- ② 気仙沼セントラルホテル松軒
駅からタクシー10分 懇親会場まで1.2km
- ③ ホテルパールシティ気仙沼
駅前
- ④ ラ・ジェント・イン 気仙沼
駅から徒歩18分

みしおね横町(各国料理)



